

# WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



## Weekly Report

VOL. 13 No. 35 TOTAL 554 平成23年4月25日 第572回例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30  
 [例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国  
 [事務局] 和歌山市雄賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)  
 TEL073-435-3470/FAX073-435-3472  
 E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/田原サヨ子 [会報委員]  
 副会長/安宅 浩一 ○北畑 充香 ○石垣 秀幸  
 幹事/野村 伸 石橋 瑞穂子 三木 民生



2010-11年度  
国際ロータリーのテーマ

地域を育み、大陸をつなぐ

地域を育み、大陸をつなぐ RI会長 レイ・クリンギンスミス

2010-11年度  
アゼリアロータリーのテーマ

『行動するロータリアンを目指そう』

### 〈本日の例会〉

- 第572回例会 4月25日(月)
- ☆クラブフォーラム 広報委員会
- 「和歌山アゼリアロータリークラブのホームページについて」

### 〈次回のお知らせ〉

- 第573回例会 5月9日(月)
- ☆誕生会
- ☆内部卓話
- 「今どきの保育園」 小門 薫子会員

### 〈前回の例会記録〉

- ローターソング 奉仕の理想
- ゲスト紹介
- ビジター紹介
- 出席報告 会員数45名  
 本日の出席(4/15) 26/45名 63.41%  
 前々回修正出席(4/4) 35/44名 79.54%
- メイキャップ 役員及びクラブ行事へ 3名

### 〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

#### ●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	4月25日(月)	クラブフォーラム「地区協議会打合せ」
和歌山	4月26日(火)	「クラシックギターで名曲を」
和歌山サンライズ	4月26日(火)	
和歌山東南	4月27日(水)	社会奉仕委員会
和歌山西	4月27日(水)	テーブル別ミーティング
和歌山東	4月28日(木)	卓話
和歌山城南	4月28日(木)	リラックス例会
和歌山南	4月29日(金)	祭日休会
和歌山中	4月29日(金)	祝日休会

### 会長報告



会長 田原サヨ子

本日の中RCさんとの合同例会を楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願い致します。

より一層の親睦が深まることを願っております。

### 和歌山中RC会長挨拶



和歌山中RC 会長 小嶋克己様

本日の合同例会、よろしくお願ひ致します。

昨年は大変楽しい例会で、楽しませて頂きました。今年は私共がホストという事でしたが、幹事の野村様に色々とお願ひばかりで、申し訳なく思うと共に、お礼申し上げます。

合同例会は両クラブの「和」を育てて「輪」が広がっていくことにより、1クラブでは無理というような「奉仕活動」がお互いにマッチングして出来るように、私は希望いたしております。

### 合同例会卓話

「福島第一原発事故の教訓～文明の衰退から崩壊へ～」

和歌山中ロータリークラブ 八瀬善郎 様

(関西医療大学 名誉院長)



人間は所詮自然の厳しい法則の中でしか生きられない。今回の東日本大震災は自然の恐ろしさと人間の傲慢さが自然のおきてに背けば、自然の制裁がいかに

厳しいかを思いしらされた出来事である。同時に、生きるためには、何が大事かということをしらげ出

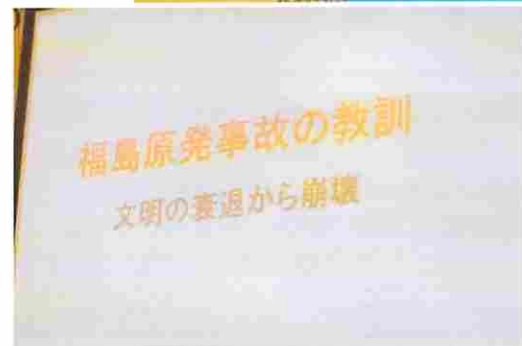
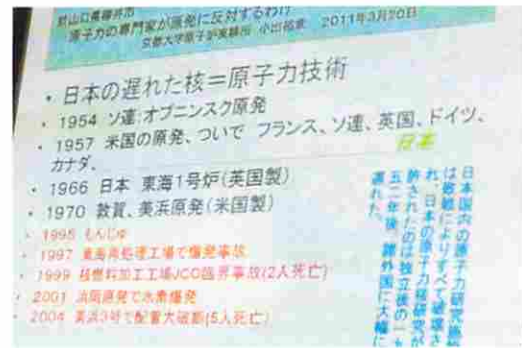
してくれた。

長い人類の歴史の中で、自ら霊長類と称し、万物の頂点のように思い込み、膨大なエネルギーを使い、大量生産、大量消費、利便と経済性のみを追求してきたつけが回ってきたのが今世紀の先進諸国である。

今回のような地震津波が再び日本で起こる確率は、極めて高く、同時に原発事故の起こる懸念も否定できない。さらに厄介なことは、原発の燃料となるプルトニウムを含む核燃料を積んだ核燃料輸送車が日本中の幹線道路を運航していることである。輸送中の事故はいつか起こることを想定しておかなければならない。

今、福島第一原発事故の放射能汚染は25年前のチェルノブイリ原発事故と同じレベル7に引き上げられた。チェルノブイリ事故が与えた悲惨さと苦痛は他人ごとではない現実が目前にある。その検証が必要で、その二三を取り上げてみた。

この状況を静かに考えてみれば、できるだけ自然に帰る生活を模索して行くべきであろう。一木一草総有仏性。味うべき言葉である。



青少年交換留学生 五十嵐彩花さん 近況報告

4月に入り、自分の交換留学生活が残すところあと約3カ月となりました。毎日新しいことを経験していった9月から今までは、本当に一瞬で過ぎて行ったように感じます。最近をよく、自分のカナダでの生活が終わり、また元の生活に戻った時のことをよく考えます。残り1年半の高校生活を終えたあとどうするのか、どのような職業に就きたいのかなどです。今のところ日本の大学に進学し、大学生のうちにまた留学をしたいと考えておりますが、高校を卒業するころの自分はほとんど20歳。14歳や15歳で留学生活を送っている友達に出会い、なんとなくうらやましい気持ちです。3～4歳の差がとても大きく感じられます。14歳に戻ることはできませんが、今しかできないことがあり、挑戦できることがあるなら挑戦していき、悔いのない人生を送りたいと思います。

さて、私のカナダでの生活は相変わらず素晴らしいものです。2月の4日から6日まで、ロータリーのスキー旅行がありました。Rosslandという街に、留学生全員が集まり、2日間スキーを楽しむというものでした。違うスキー場でスキーをしたのが新鮮でした。留学生全員が教会の一室で雑魚寝しました、修学旅行のようで楽しかったです。

2月10日、ロータリーのみなさんに日本についてのプレゼンテーションを行いました。このために夕食会を開いてくれて、ロータリーのみなさんとその家族の方々が集まりました。緊張しましたが、自分が生まれた国について紹介する良い機会を楽しんで終わることができました。ほとんどの方が最後まで興味深そうに聞いてくれました。

3月2日、学校からの校外学習でカナダの先住民達の歴史を学ぶために、彼らが昔、カナダ政府に強制的に通わされていた学校へ行きました。今その学校はホテルとして使用されていますが、実際にその



学校へ通っていた方々から当時の様子を聞かせていただき、先住民の方々の背景について学びました。暗いカナダの歴史について、日本で学ぶことはなかったので良い機会でした。

3月21日からの2週間は春休みでした。春休み初めの2日間で宿題をすべて終わらせるという計画を実行したおかげで、学校のことを心配せず残りの休暇を楽しむことができました。休暇中には、スキーや友達と遊ぶことはもちろん、お寿司を作って振る舞ったり、GoldenやBanffへ出かけたりアイスホッケーの試合を観戦したりと多くのことをしました。お寿司を作った日、ホストの妹とスーパーへ行き、日本のお米、のり、お酢などの材料を自分たちで買いそろえました。マグロやサーモンなどは手に入らなかったため、代わりにスモークサーモン、アボカドなどを使い少しカナダ風のお寿司を作ることになりました。久しぶりの日本のお米との再会にすこし感動しながら、日本の味をホストファミリーと楽しみました。

4月4日に学校が始まってから、陸上競技とサッカーの季節が始まりました。今までに陸上をしたことがなかったのですが、サッカーは全く得意ではないのでこの機会に陸上を始めることにしました。ロッキー山脈の美しい景色を眺めながら街の中を練習で走っていくのはとても気持ちがよいです。これから遠征旅行などがあるので楽しみです。

3月に東日本で起こった地震から約1カ月、私の通う学校では日本への支援のための活動を始めようとしています。数人の先生方と有志の生徒達で何回かの会議を開き、なにができるかを話し合いました。もちろん私も参加しています。5月に、日本料理の夕食付きの映画鑑賞会を学校で開きます。映画、夕食をボランティアで行い、映画鑑賞会のチケット代を日本に寄付するという予定です。そのほかにも、いくつかの活動を行っています。カナダのみなさんが日本を支援するためにさまざまな活動をしていくことに対して本当に感謝の気持ちです。

これから日本に帰るまでの約3カ月もとても速く過ぎていくとおもいます。残された貴重な自分の留学生生活を、感謝の気持ちを忘れず有意義に過ごしていきたいです。ありがとうございます。

Rosslandのスキー場、先住民の方々が通っていた学校、春休みに作ったお寿司、アイスホッケーの試合の写真です。



#### S・A・A 報告 【3つの箱】

\*ニコニコ箱

和歌山中RC 会長 小嶋克己様 本日よろしくお  
願い致します。

和歌山中RC 幹事 久保邦臣様 本日は、宜しく  
お願い致します。

和歌山中RC 会長エレクト 中井義宣様 本日の  
合同例会よろしくお願ひ申し上げます。

和歌山中RC 副会長 谷口秀雄様 合同例会を祝  
して。

和歌山中RC 岩橋正典様 お世話になります。

和歌山中RC 市川一郎様 今後とも末永くよろし  
くお願ひ致します。

和歌山中RC 吉田博信様 合同例会よろしくお願  
ひ致します。

本日合計額 29,000円 今年度累計額 1,024,000円